



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 i - p l u g 上場取引所 東
 コード番号 4177 URL https://i-plug.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中野 智哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 阪田 貴郁 TEL 06-6306-6125
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,477	21.3	△491	—	△496	—	△485	—
2022年3月期第3四半期	2,043	41.0	271	140.0	274	163.1	186	223.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △485百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 186百万円 (162.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△123.47	—
2022年3月期第3四半期	47.92	46.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,557	968	27.2
2022年3月期	3,321	1,430	43.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 968百万円 2022年3月期 1,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,711	22.0	△462	—	△469	—	△532	—	△135.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	3,934,701株	2022年3月期	3,920,750株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	28株	2022年3月期	28株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	3,929,592株	2022年3月期3Q	3,891,353株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(売上高)

2023年卒学生の就職内定率(2022年12月1日時点)は、94.0%(前年比1.2ポイント減)と前年並みとなっております(出典:㈱リクルート 就職みらい研究所「就職プロセス調査」)。OfferBoxの登録企業数及び登録学生数は順調に伸長しており、OfferBoxで内定に至る学生も堅調に推移しております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,477,950千円(前年同期比21.3%増)、OfferBoxの2023年卒の内定決定人数は6,250人(前年同期比27.2%増)となりました。

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。サービス別に区分した売上高の概況は、次のとおりであります。

OfferBox(早期定額型)

2024年卒を対象とした早期定額型は、継続受注だけでなく成功報酬型から早期定額型への切り替えや新規受注も好調に推移しており、早期定額型の受注高は2,509,220千円(前年同期比40.7%増)となっております。当第3四半期累計期間の受注高の増加に加え、早期定額型は受注高を期間按分して売上計上していることから、期首の契約負債(前受収益)の償却による売上計上の結果、当第3四半期連結累計期間のOfferBox(早期定額型)の売上高は1,632,199千円(前年同期比30.9%増)となりました。

OfferBox(成功報酬型)

2023年卒を対象とした成功報酬型は、企業の採用意欲の高まりなどから学生の内定決定が堅調に推移しておりますが、早期定額型の受注が好調なため、入社合意率を超過した内定決定は前年並みとなっております。この結果、当第3四半期連結累計期間のOfferBox(成功報酬型)の売上高は609,292千円(前年同期比1.9%増)となりました。

eF-1G(適性検査)

新卒採用における適性検査の受検については前年並みとなっておりますが、適性検査の取得データを用いた分析サービスの受注により、当第3四半期連結累計期間のeF-1G(適性検査)の売上高は176,853千円(前年同期比3.2%増)となりました。

その他

M&Aにより新たに連結の範囲に含めた子会社(株式会社マキシマイズ)や譲受した事業の売上高が含まれております。この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は59,605千円(前年同期比116.9%増)となりました。

(営業損失)

さらに成長を加速させるべく営業職や開発職等の増員やサービス規模拡大のためにプロモーション関連に投資しております。また、求職者と企業をつなぐ転職プラットフォーム「PaceBox」を8月に正式リリースし、人件費やプロモーション関連投資が売上高に先行して増加しております。これに加えて、M&Aに伴う各種費用の発生等により、当第3四半期連結累計期間の営業損失は491,785千円(前年同期は営業利益271,260千円)となりました。

(経常損失)

銀行借入れに対する支払利息を計上しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の経常損失は496,075千円(前年同期は経常利益274,585千円)となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純損失)

税金計算に四半期特有の会計処理を採用し、法人税等を△10,877千円計上しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は485,197千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益186,458千円)となりました。

(第3四半期連結累計期間の季節性)

当社グループの売上構成として、OfferBox早期定額型の売上高が67.9%(2022年3月期)を占めます。この早期定額型の受注は、インターンシップ需要で例年7月から11月に集中するため、売上高は下期に偏重する傾向にあります。

四半期連結会計期間の売上高及び営業利益の推移

2022年3月期	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上高(千円)	442,023	709,167	892,259	998,032	3,041,482
構成比(%)	14.5	23.3	29.4	32.8	100.0
営業利益(千円)	△167,499	128,249	310,509	96,076	367,336

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,557,861千円となり、前連結会計年度末に比べ236,707千円増加いたしました。これは主にM&Aや新規事業への投資等により現金及び預金が434,233千円減少した一方で、広告宣伝費や販売手数料の前払等によりその他流動資産が222,527千円、M&A等によりのれんが171,967千円、OfferBoxの機能強化のためにソフトウェアを計上したことによりその他無形固定資産が132,499千円それぞれ増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,589,859千円となり、前連結会計年度末に比べ699,347千円増加いたしました。これは主に早期定額型の収益認識から生じる契約負債が859,775千円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は968,002千円となり、前連結会計年度末に比べ462,640千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失が485,197千円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2023年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,783,787	2,349,554
売掛金	115,351	178,409
その他	106,152	328,680
流動資産合計	3,005,291	2,856,645
固定資産		
有形固定資産	52,003	51,792
無形固定資産		
のれん	81,613	253,581
その他	74,149	206,649
無形固定資産合計	155,763	460,231
投資その他の資産	108,095	189,192
固定資産合計	315,862	701,216
資産合計	3,321,154	3,557,861
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	249,654	241,128
未払法人税等	72,556	8,791
契約負債	656,287	1,516,062
その他	529,024	568,819
流動負債合計	1,507,522	2,334,800
固定負債		
長期借入金	374,388	233,267
その他	8,601	21,792
固定負債合計	382,989	255,059
負債合計	1,890,511	2,589,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,087	655,977
新株式申込証拠金	2,816	18
資本剰余金	521,845	533,734
利益剰余金	262,077	△221,543
自己株式	△184	△184
株主資本合計	1,430,642	968,002
純資産合計	1,430,642	968,002
負債純資産合計	3,321,154	3,557,861

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,043,450	2,477,950
売上原価	249,567	319,538
売上総利益	1,793,883	2,158,412
販売費及び一般管理費	1,522,622	2,650,198
営業利益又は営業損失(△)	271,260	△491,785
営業外収益		
保険解約返戻金	5,540	84
業務受託料	540	527
為替差益	1,172	—
その他	291	415
営業外収益合計	7,545	1,027
営業外費用		
支払利息	3,339	3,555
株式交付費	873	1,123
その他	7	637
営業外費用合計	4,220	5,316
経常利益又は経常損失(△)	274,585	△496,075
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	274,585	△496,075
法人税等	88,126	△10,877
四半期純利益又は四半期純損失(△)	186,458	△485,197
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	186,458	△485,197
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	186,458	△485,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,458	△485,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社paceboxを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社マキシマイズの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、HRプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(企業結合等関係)

取得による企業結合 (事業譲受)

1. 事業譲受の概要

(1) 相手企業の名称

VISITS Technologies株式会社

(2) 事業の内容

VISITS Technologies株式会社が提供するHELLO, VISITS事業及びキャリア大学事業

(3) 事業譲受を行った主な理由

就活生と新卒採用企業の繋がりのみならず、学生同士の繋がりも創出しながら、就活イベントやキャリア支援の取り組みなど、新たなサービスを拡充するとともに、OfferBoxの更なる認知向上を図るため。

(4) 事業譲受日

2022年12月1日

(5) 法的形式

現金を対価とした事業譲受

(6) 結合後企業の名称

株式会社i-plug

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金の対価として事業を譲り受けたことによるものであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2022年12月1日から2022年12月31日

3. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	75,000千円
取得原価		75,000

なお、一定期間の業績の達成水準に応じて2023年3月期において最大で85,000千円の条件付取得対価（アーンアウト対価）が発生する契約となっておりますが、現時点では確定していないため、上記の取得原価には条件付取得対価を含めておりません。

アーンアウト対価の発生により取得対価の変動が発生した場合には、取得時に発生したものとみなして取得原価を修正し、のれんの金額及びのれんの償却額を修正することとしております。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

52,068千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却